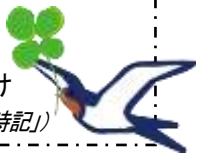


かもう公民館 図書室だより

平成28年度 9月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

9月 (長月 ながつき)

9月8日頃、昼夜の気温差が大きくなり、草木に朝露が
つきはじめる時季の節気を白露(はくろ)といいます。
燕が南に帰る支度を始めるのもこの頃で、
「帰燕(きえん)」は秋の季語です。日毎に涼しく
なるこの季節、五感を澄ませて小さな秋を見つけ
てみませんか? (参考資料:「12か月のきまりごと歳時記」)



第155回 芥川賞・直木賞が決定!

芥川賞

「コンビニ人間」
村田沙耶香



コンビニで働き続
ける主人公を通し、
現代の実存を問い
かける衝撃のリア
リズム小説。

直木賞

「海に見える理髪店」
荻原浩



人生の可笑しさと
切なさが沁みる、
大人のための
“泣ける”短編集。

貸出中の際は
ご予約もできませ
ん。お気軽にどうぞ!



●9月カレンダー

休室日 ○

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開室日 : 火~日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間 : 9:00~17:00
(12:00~13:00は休室)
貸出冊数 : 図書5冊・雑誌2冊
貸出期間 : 15日間
(増冊試行期間は8/31で終了しました)

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

始良市立図書館ホームページ

<http://lib-airajp/>

「ポイズンドーター・ ホーリーマザー」 湊かなえ 著



母と娘、姉と妹、男と女。立場が違
う、見方が違う、個が違うからこそ
ままならない。人の心の裏の裏ま
で描き出す、さまざまに感情を揺
さぶられる圧巻の傑作集。

育てた野菜を長くおいしく味わう
ために、収穫のポイント、保存の
仕方、大量に消費できるレシピな
どを紹介。収穫から消費までに
特化した、新しい家庭菜園本。



「農家が教える
野菜の収穫・保存・料理」
西東社編集部 編

「かいけつゾロリの おいしい金メダル」 原ゆたか さく



金メダルには、なにかヒミツがある
らしい? ゾロリはぜったいに取っ
てみせると大はりきり。手ごわいライ
バルたちを相手に、ゾロリは金メ
ダルをゲットできるのでしょうか。

一般書

「日本会議の研究」 菅野完
「今日が人生最後の日だと思って生きなさい」 小澤竹俊
「ハンドメイドのリング」 坂本あや
「漬けるだけでごちそう!」 岩崎啓子
「夜を乗り越える」 又吉直樹
「家康、江戸を建てる」 門井慶喜

児童書

「さよならママがおばけになっちゃった」 のぶみ
「まほうのかさ」 小沢正
「宇宙への夢、カいっぱい!」 若田光一

今月の特設展示コーナー

【特集 月の本】

今年の十五夜は9月15日。今回は、月に関する
本を集めます。きれいな月夜に、のんびり読書を
楽しんでみませんか?



「14ひきの
おつきみ」
いわむらかずお



「おつきみ
おばけ」
せなけいこ



「月」
榎本司



「いかに満月」
山本一カ

蒲生公民館図書室利用者 おすすめの本

*「残り者」 朝井まかて 著

江戸城明け渡しの前夜、誰もいなくなった
城に、それぞれの思惑・目的のために残っ
た身分や立場の違う女5人の物語。女が自
立して生きることが難しかった時代、大奥は
仕事をもち自立して生きることができ、老後
も保障される女の働く場であった。大奥の職種や仕組み
は興味深く、生い立ちや大奥での仕事・暮らしを語り合う
女たちが次第に心を通わせていく場面も良い。城を出た
女たちが大奥で培った腕を活かし、時代の流れの中を逞
しく生き抜いてゆく姿にホッと、楽しく読める本だった。
(鹿児島市東佐多町 ペンネーム・にゃんこさん)

